1977年12月3日　第3種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の発行）
恵の園ニュース（平成30年　新年号）

〒377-8567 群馬県渋川市渋川4418
TEL0279(22)1730㈹
URL http://www.meguminosono.jp/
E-mail meguminosono@dan.wind.ne.jp

◎ 巻頭言 ◎

「感謝、そして前進」

理事長　山田　雅人

新年あけましておめでとうございます。本年も良き一年とすることができますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、今年の秋、恵の園は創立五十周年を迎えます。この五十年の歩みを振り返る時、良い事、きつかった事、悲しい事、腹が立つ事など、様々なことが思い出されます。しかし、たくさんのおかげ様があったことを強く感じます。

そこで、今年は「感謝、そして前進」というスローガンを掲げることにしました。一昨年は「より前進」というスローガンを掲げ、昨年は「常に前進」をスローガンとしたため、三年連続して「前進」をキーワードにするのはいかがなものかと正直悩みました。しかし、この「前進」は、今の恵の園の課題であり、また、五十年のおかげ様に応えていくために、そして、今の日本の社会の状況や福祉ニーズを考えた時に、やはり「前進」がとても重要だと考えました。

私たちは、たくさんのおかげ様に気づかなかったり、忘れてしまったり、申し送りが不十分だったりして、失礼をしてしまうことがあります。あらためて、感謝の振り返りをしつつ、恵の園の原点を大切にしながら、今の私たちに課せられている前進の歩みをしていきたいと思います。

さらなる前進・成長・進化のために、本年も、皆様のご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

〈特　集〉

『エステル多機能型事業所へ移行』

平成三十年四月から障害福祉サービス事業所「エステル」を、現在の「就労継続支援事業B型」に「生活介護事業」を加えた「多機能型事業所」へ移行します。また、渋川市より受託していた渋川市心身障害者（児）デイ・サービスセンター「あじさいの家」は三月で事業終了となります。

エステル作業風景

「エステル」は、昭和五十三年に渋川市から委託された「渋川市障害者福祉作業所めぐみ」が始まりです。在宅の知的障害者が様々な作業に取り組み、工賃を得て、より自立に向かう施設です。開所後から利用希望者は増え続け、渋川市や親の会からの強い要望もあり、昭和六十二年「精神薄弱者通所授産施設めぐみ」に移行。建物は「めぐみ電子工業株式会社」の工場と社員寮を譲り受けました。その後、法律の改正等により事業名を変更。施設の名称も希望の星という意味が込められた「エステル」に変更しました。近年は、築四十年以上の建物の著しい老朽化が課題となっていました。

あじさいの家朝礼風景

一方、「あじさいの家」は渋川市手をつなぐ育成会の要望を受け、渋川市からの委託により平成三年に開設。授産施設等への通所が難しい重度の心身障害をもつ方々が、より豊かな生活が送れるように、そして家族の負担を少しでも軽減するようにとの目的で設置されました。建物は既存の「めぐみ」の生活棟に増設しました。

渋川市より十年ほど前から、市の財政上の問題などにより、委託終了の話が出始め、利用者の受け皿をどうするのか渋川市と恵の園とで協議を重ねてきました。本来であれば、渋川市に責任をもってニーズに応えていただきたかったところですが、曖昧な返答が繰り返され、明確な答えをいただけませんでした。そうした中でご家族の「行き場がなくなるのではないか」といった不安や「長年親しんだこの場所を離れたくない」との想いは年々高まっていきました。ご家族の不安を解消するため、恵の園では自助努力として、隣接する「エステル」を多機能型事業所として、「あじさいの家」の利用者の受け皿を作り、さらなるニーズへの対応に応えていくことにしました。

建て替え工事中の現在は、「カナン」や「地域交流ホーム」の作業棟を利用して支援を行ない、新しい建物の完成を心待ちにしています。

社会福祉法人 恵の園　職員募集!!
正職員・パート
募集職種
①介護・支援職
②看護職
③理学療法士
私たちと一緒に働きませんか?
平成28年に「特別養護老人ホームカナン」を新規に開設します。既存の施設も合わせてたくさんの方の応募をお待ちしております。
■資　格：①不問（パート可）②正・准看護師
■給　与：当法人規定による経験に応じて優遇
■時　間：①交代勤務②日勤のみ
■休　日：勤務表による（4週6休）
■待　遇：各種保険完備、各種手当支給 賞与年2回、職員寮あり
見学は随時対応可
事前にご連絡下さい。

渋川市渋川4418
☎0279-22-1730
http://www.meguminosono.jp
採用担当／真部
お気軽にお問い合わせ下さい!!
✉meguminosono@dan.wind.ne.jp

ご支援とご協力をお願いいたします

会員の方には年4回発行の「一粒の麦」（恵の園ニュース）をお送りします。

ご協力方法

1. 正会員：毎月一口500円
2. 賛助会員：随時随額または年会費1000円のワンシートサポート
3. 募金箱の設置協力
4. 使用済み切手収集も

恵の園後援会 ☎0279-22-2823

東京女学館ワークキャンプ

恒例の東京女学館ボランティア部のワークキャンプが、8月21日から24日までの3泊4日で行なわれました。中学2年生から高校2年生までの生徒9名、先生2名が来園され、各施設に分かれて活動をしていただきました。今回は高齢者施設のカナン・ゆうかりも加わり、新しい施設での活動も増えました。

最終日前夜の利用者との交流会では、カラオケ、ビンゴゲーム、余興として今回初めて手品を披露していただき、利用者の方々から驚きと大きな歓声が上がりました。締めくくりの花火ではみんなで輪になり、線香花火などを楽しみました。

今年度で高校2年生の6名がボランティア部を卒業になるとのことです。来年は新しい生徒も加わり、新しい出会いを利用者の方々、職員も楽しみにしています。

利用者との交流会

グループホームのセキュリティ強化

恵の園では障害のある方が地域で生活しているグループホームが4つあります。入居されている方はそこで生活しながら、日中は各事業所へ通って仕事をしています。地域で暮らすことは生活圏の拡大というメリットがある反面、災害、人災におけるリスクを伴います。今までは防災訓練、緊急連絡の方法などを入居者と確認しながら、大きな事故もなく生活していますが、さらに安全で、安心できる環境を提供するにはどうすればよいか検討を続けていました。

そこで、今までは女性だけのグループホーム「さくらホーム」のみ利用していたホームセキュリティーサービスを、今年の四月一日より全てのグループホームと契約。監視カメラ、通報装置などを設置しました。これにより緊急時にはガードマンが駆けつけます。

今年度は災害時の避難訓練に併せ、ホームセキュリティーサービスを活用した防災、防犯訓練を実践していきます。入居者と意見を交換しながら、より安全で、安心できる生活の場を目指していきます。

入居者と機器の確認

福祉現場からの主張
季刊誌
SAKIGAKE
定価300円
定期購読会員募集中!
発行 社会福祉法人 恵の園

特・別・栽・培
季節の野菜
赤城のリンゴ
社会福祉法人恵の園
シャローム
〒379-1103
赤城町津久田1700
販売問合せ TEL.0279・56・8510 FAX.0279・56・8520

1977年12月3日　第3種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の発行）
SSKP通巻6766号　2017年12月2日 発行(4)

納涼祭

夏の恒例行事である納涼祭を7月28日に開催しました。今年は前日準備から雨が続き、屋内での実施となりましたが、当日は沢山のお客様に足を運んでいただきました。

アトラクションでは、地元明保野地区の芳扇会様に夏の風物詩である盆踊りを披露していただきました。来場者も一緒に盆踊りを踊り、会場は一体感に包まれ、利用者を含め多くの方々が盆踊りを楽しみました。

八木原八木節保存会様には、笛や木樽を叩いての軽快なリズムで踊りを披露していただきました。

フラダンスを披露してくださったのは、イ・カ・マーリエ様。小さなお子様から大人の方までが踊る優雅なダンスに会場の雰囲気も南国ムードに包まれました。

最後は地元のお父様方で結成された明保野おやじバンドの皆さんによる歌や演奏。アンコールも飛び出す程、会場は大盛り上がりでした。

模擬店では焼きそばや唐揚げ、クレープ等多くのメニューが完売となり予想以上の反響でした。

ご出演いただいた方々やボランティアの皆様、備品の貸与をしてくださった業者様などのお力添えがあり、たいへん盛り上がった納涼祭となりました。この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。

ご来場いただいた皆さま、開催にご協力くださった皆さま、誠にありがとうございました。

会場は南国ムード

親笑レクリエーション大会

六月二十八日（水）、ベテル・グレイスホーム・あけぼのホームの三施設合同で親笑レクリエーション大会を開催しました。

今回で三回目となる雅杯では、おなじみの風船バレーに加え、各施設長の顔写真等を魚に見立てた魚（？）釣りゲームという新しいゲームを行ないました。

このゲームに関しては、担当者間で、身体を動かす軽スポーツだけでなく、ゲーム感覚で行なえる競技が必要との想いから考えたものです。毎年あまり積極的に参加されない方々も「懐かしいなぁ、昔よく釣りに行ってたんだよ！」と進んで参加され、笑顔を見せていました。

また、多くの方が楽しみとしているパン食い競争も三種類のパンに加え、パンでは飲み込みに不安のある方に配慮し、食べやすいプリンを用意しました。

こちらも大好評で、パンより人気があるのでは？と感じるほどでした。

毎年行なっていることでも、一工夫するだけで、また違った表情の利用者の方に会える。この喜びは何事にも代え難いということをしみじみと感じたイベントとなりました。

高得点を狙って糸を垂らす

〈カナン〉

渋川幼稚園交流会

六月二十六日、渋川市立渋川幼稚園の年長さん二十二名が、カナンに遊びに来てくれました。

まずは園児たちの自己紹介から。緊張のせいか、大きな声でお話しすることができません。でも、そんな姿すらかわいらしく、利用者の皆さんは「かわいいねぇ」「いい子だねぇ」と、にこにこ。

次は歌やダンスの披露。緊張していた園児たちのエンジンもようやくかかり始めました。その元気の良さに「すごいねぇ」とびっくり。

最後はお手玉の投げっこや、肩を叩いてもらって触れ合いました。利用者の皆さんは、普段職員にはあまり見せない「優しいおじいちゃん、おばあちゃんの顔」になっていました。

また、園児たちから手作りの首飾りをプレゼントされ大感激。今でも大切にしている方がいます。

小さなお客様に、たくさんの元気をもらいました。

プレゼントに感激

〈あじさいの家・ゆうかり〉

「ゆるキャラ大行進」前橋七夕まつり

七月の前橋七夕まつりの飾りコンクールには、ゆうかりとあじさいの家が参加しました。

初参加のゆうかりは、お花紙で貼り絵を作成。おなじみの「ぐんまちゃん」に伊香保のゆるキャラ「いしだんくん」、さらに群馬県老人福祉協議会のゆるキャラ「Gちゃん」と、可愛いゆるキャラがそろい踏み。初めての作業でしたが、納得のできる作品になりました。

今回で出展15回目のあじさいの家。テーマは、『幸せ、はこぶねっ！』大きな鳥に色々な動物が乗り、みんなで楽しく幸せを探しに行こうというテーマです。鳥の羽を一本一本貼り付けるなど細かな作業が多かったのですが、さつきの皆さんをはじめ様々な方の協力のその結果、「前橋問屋センター理事長賞」を受賞。テーマ通り幸せを運んでくれました。

次回も、みんなに幸せを運んでいけるような作品作りを目指します。

みんなで作りました

行事だより

夏季日帰り旅行

身体に障害を負った方達が通って就労する「ベテル」では「季節感を味わいながら、旅行を楽しむ」という目的のもと、毎年日帰り旅行を３回実施しています。

８月９日、今年２回目の日帰り旅行は高崎のショッピングモールでの買い物と焼き肉食べ放題。焼き肉以外にも様々な麺類やデザートなどが食べ放題で、思う存分食を満喫しました。

普段の仕事を一時離れ過ごした１日はよい気分転になりました。次回は赤城山方面への旅行を計画中です。

1977年12月3日　第3種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の発行）

Visitor & Event　あゆみ

＜6月＞

- ○ 消防設備点検　（マイーム）　(6日)
- ○ 消防設備点検　（カナン・ゆうかり）(8日)
- ○ ザスパ草津サッカー観戦招待（グレイスホーム・めぐみの里）　(12日)
- ○ 親笑レクリエーション　(15日)
- ○ 故人を偲ぶ会　(20日)
- ○ 高崎パイロットクラブコンサート招待（あけぼのホーム・めぐみの里・カナン）(22日)
- ○ 地域サービスデイ　(30日)

＜7月＞

- ○ ボランティア交流会　（めぐみの里）(6日)
- ○ 前橋七夕まつり見学（あじさいの家）　(8日)
- ○ ぐんまフラワーパークへ外出（あじさいの家）　(13日)
- ○ 職員ボランティア　(16日)
- ○ 恵の園をささえる会ボランティア　(18日)
- ○ 介護職員初任者研修閉講式　(22日)
- ○ 納涼祭　(29日)

＜8月＞

- ○ 暑気払い　（あけぼのホーム）　(10日)
- ○ ダイヤモンドペガサス野球観戦招待（グレイスホーム）　(20日)
- ○ 夏季職員交流会　(22日)

人事往来

◎採用
〈正職員〉
8月　7日付　中川麻衣子　（カナン）
〈契約職員〉
6月　5日付　岡芹　伸泰　（ベテル）
7月　1日付　小林　光（あけぼのホーム）
7月20日付　髙橋　唯（グレイスホーム）

◎退職
〈正職員〉
6月30日付　押江　有香　（エステル）
7月31日付　佐俣　有香　（カナン）
〈契約職員〉
6月30日付　篠原　明美　（めぐみの里）
8月31日付　大林　光栄　（ゆうかり）
〈期間限定契約職員〉
7月31日付　大西芳輝　（シャローム）
〃　小林勉　〃
〃　狩野安男　〃
〃　村田勝太郎　〃
〃　横手保　〃
〃　小田桐敏治　〃
〃　石田てい子　〃
〃　松井みよの　〃
〃　齋藤エミ子　〃
〃　大西ヒサ江　〃
〃　木暮香織　〃

◎育休開始
〈正職員〉
6月30日付　髙橋　由佳　（めぐみの里）
8月19日付　森村真知子（あけぼのホーム）
8月31日付　竹渕絵理香　（ベテル）

お知らせ

●リンゴジュース

シャロームでは自家製のりんごジュースを販売しています。

1本1リットルサイズのペットボトルで五百円。

ご贈答用にもいかがでしょうか？のし・包装他、発送なども承ります。

シャローム
TEL 0279-56-8510
FAX 0279-56-8520

★感謝★

●ほりえ酒店様

渋川市内にあるほりえ酒店様より、甘酒百本をいただきました。

ほりえ酒店様は昨年、創業四十五周年。長い間お客様を大切に、地域に貢献されてきた酒屋さんです。

恵の園も創立のころからたいへんお世話になってきました。

いただいた甘酒は各施設の行事等で利用者の方々に提供させていただき、皆さんに喜んでいただきました。この度は誠にありがとうございました。

●ザスパクサツ群馬観戦

群馬県障害政策課を通し「ザスパクサツ群馬」のサッカー観戦に招待をいただきました。この日はレノファ山口FCとの対戦でしたが、目の前で迫力あるゴールが決まった時は、選手の格好良さとうれしさでおもわず大声を出して拍手！ゴールが決まらない時の悔しさも、応援歌に合わせての手拍子も、他の観客と一体となり楽しい一日でした。

＊おくやみ＊

カナン
荒木　保　様
十一月七日（九十二歳）

金子　水　様
十一月八日（九十四歳）

編集後記

寒い日が続いています。

とある化粧品会社の美肌県ランキングでは、群馬県は最下位だそうです。理由は上州名物「からっ風」による肌の水分低下だそうです。日頃の化粧水やクリームでの保湿が不可欠のようです。「うるおい」が必要なのは肌だけではありません。私達も利用者にとって「うるおい」をもたらす支援を心掛けたいと思います。

編集人　社会福祉法人　恵の園
群馬県渋川市渋川四四一八番地
頒価三十円
発行人　身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三―一―十七
ウェルドゥーラ祖師谷一〇二号室

紙面の写真、個人名は、ご本人の了解を得て掲載しています。